

解 答 速 報

東海大学医学部 英語

2023年 2月 2日実施

1	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10
	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	イ	イ	エ
	問 11									
	1	2	3	4						
	F	T	F	T						
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	イ	イ	ア	イ	ウ	エ	イ	ウ	エ	ア
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	ウ	ウ	エ	ア	エ	ア	イ	ウ	ア	イ
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	エ	エ	ウ	ア	エ	エ	イ	エ	ウ	ア
5	問 1	問 2	問 3	問 4	6	(1)	(2)	(3)	(4)	
	ア	ウ	ウ	ア		ア	ア	エ	ウ	
7	<p>(1) しかし、ほとんどの主要な科学雑誌は英語で書かれ広まっている。つまり、他言語で書かれた雑誌はより広範な読者の目には届いておらず、その研究結果は国際的な議論の場においては顧みられていない。 【別解】しかし、大半の主要学術誌が、英語を使用言語として普及しているせいで、他言語の学術誌は広範な読者の目には触れることなく、その研究成果は国際討論の場で見落とされてしまっている。</p>									
	<p>(2) その結果、失われる危険のある、多くの希少種の動物や珍しい固有の文化は、英語でなされる研究のなかで、十分には述べられてはこなかった。 【別解】そのせいで、絶滅の危機に瀕する多くの希少な種の動物や、他に類を見ない、失われゆく土着の文化は、英語で発表された調査では、それらを保護するのに効果的な仕方ではこれまで説明されていない。</p>									
8	<p>(1) Surprisingly, this light accelerated this ability and enabled it to decompose compounds, while it will take some centuries for them to biodegrade naturally, in a few days.</p>									
	<p>(2) In scenarios which often appear in science fictions, creatures born in the laboratory run away and threaten the Earth, but in real life such creatures may save the Earth.</p>									

*試験会場で手配りさせていただいた解答速報において、大問8(1)の末尾が、“a few days”とすべきところ“a few minutes”となっていました。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

〈〈 模試・講座のご案内 〉〉

受験相談会・後期模試・攻略講座を実施します

※詳細は最終面をご確認ください

1

問1 「第1段落によれば、フラクタルは_____」

正解は、ア「視覚に訴える力をもつ」。第1段落第2文に「美が備える基本的な特徴の一つ」とある。

問2 「第2段落によれば、ブノワ・マンデルブロの『フラクタル』という語は_____を表している」

正解は、ア「数学的パターン」。第2段落第1文に「ブノワ・マンデルブロは『フラクタル』という単語を1970年代に新たに造り出した科学者であるが、彼が気づいたのは、自然界において一見ランダムや無秩序な現象や造形がフラクタルの法則と呼ばれる単純な数学的規則に従っていることだった」とある。

問3 「第2段落の示すところでは、海岸線がフラクタルパターンの良い実例を提供するのは、それらが_____からである」

正解は、イ「さまざまな大きさで見え目がよく似ている」。第2段落第9文に「同様に、地図に載っているわずか数キロの海岸線も、数千キロにも及ぶ海岸線と見え目がとてもよく似ている」とある。

問4 「第2段落で、(A)支流の意味は_____にもっとも近い」

正解は、イ「他に流入する水」。下線部(A)を含む第2段落第8文のおおよその意味は、「たとえば、ある水系で、水の支流は同じパターンを繰り返しながら次の支流へと流れ込んでいく」である。下線部(A)を含む文の意味がよくわからなかった場合には、消去法も有効である。
ア「水面に現れる図形」、イ「他に流入する水」、ウ「水流を妨げる障害」、エ「水際で成長する樹木の枝」。水面の話ではないのでアは不適、水流が妨げられる話はしていないのでウも不適、下線部(A)を含む文は樹木の話ではないのでエも不適となり、答えとしてイが残る。

問5 「第3段落の示すところでは、天気予測は_____」

正解は、ウ「使用するデータ群の量をかなり減らしても可能だろう」。第3段落第6文に、「ラブリョイによれば、はるかに量の少ないデータ群を用いたフラクタル分析でも、軟風という名で知られる比較的小規模なエアポケットを手掛かりとして正確で大規模な天気予測が可能である」とある。

問6 「第4段落の主な目的は_____ことである」

正解は、ウ「人類とフラクタルの関係がなお続いていることを説明する」。文章全体における各段落の目的、主旨を考えることで、第4段落の目的がより明確になる。第1段落は芸術作品のもつ美しさの本質的特徴であり、そして自然界にも見出すことのできるパターンであるフラクタルという概念が紹介されている。その最終文では「フラクタルは私たちの古代の祖先を繁栄させ、その魅力は今日の人類文化に影響を与え続けている」と述べられており、これが第2段落以降の構成を予想させるものとなっている。第2段落ではフラクタルという概念を提唱したブノワ・マンデルブロを紹介し、自然界に見られる様々なフラクタルの事例が挙げられている。第3段落ではフラクタルのパターンを認識することが初期の人類の生存に役立っていたであろうことが述べられる。そして第4段落では、フラクタルを認識することを快とする脳の仕組みがあることにより、原始時代を過ぎてもなお、それが引き続き芸術作品の鑑賞時に影響していることが述べられている。第5段落では、芸術作品の中でもとりわけジャクソン・ポロックの作品が取り上げられている。最終段落ではフラクタルを認識できるように進化した人類にとって、今なお自然界と芸術作品に含まれるフラクタルが大きな意味をもつとまとめられている。以上を踏まえると、ウ以外の選択肢は第4段落の目的には該当しない。

問 7 「第 5 段落によれば、ポロックの作品の持つ魅力の主な理由は_____である」

正解は、エ「その様式に内在するパターン」。ポロックの作品に人々が魅力を感じる理由そのものは本文に述べられていないが、第 5 段落第 5 文に述べられているように、ネイチャー掲載の論文で「ポロックの絵画は厳密なフラクタル形態に基づいている」ことが明らかにされ、続く第 6 文では、実際に人々が「彼の作品を鑑賞する際には本能的にフラクタルのパターンを目で追っている」ことも確認されていることから、ポロックの作品を鑑賞する上で、フラクタルのパターンが魅力の一因であることは推測可能である。

問 8 「第 5 段落によれば、“Pollockiser” は_____」

正解は、イ「ポロックの作品に似た絵画を生み出した」。第 5 段落第 7 文が根拠となる。その 1 文のおよその意味は「その同じ被験者たちに、ポロック流にフラクタルと非フラクタルのパターンを生成する“Pollockiser”と呼ばれるコンピュータ・プログラムによって生成された絵画を見させた」である。

問 9 「最終段落の内容を最もよく要約しているのはどの文か」

正解は、イ「フラクタルは常に人類の芸術と自然との関係性を高めてきた」。最終段落では、自然界から芸術的直観を得ていたポロックを例に、人類が何百万年の間、環境評価や生存のために視覚情報を処理しながら進化してきており、自然界や芸術におけるフラクタルが人間の生活に大きな影響を与えているということが述べられている。

問 10 「本文のタイトルとして最も適切なものはどれか」

正解は、エ「フラクタルの科学と美」。最終段落最終文で「このような進化論的観点からみると、自然界におけるフラクタルと芸術におけるフラクタルは双方とも私たちの生活に重要な影響をもたらしている」とある。尚、人間がフラクタルをデザインするというより、自然界や芸術作品にフラクタルを見出すというのが本文の主旨であり、アは不適。

問 11 「本文に従って、選択肢の文が正しければ“T”を、誤りならば“F”をマークしなさい」

1. 「円形はフラクタルの理想的な例を与えている」

正解は F。円形に関しては本文では直接言及されていない。さらに第 2 段落第 1 文に「ブノワ・マンデルブロは『フラクタル』という単語を 1970 年代に新たに造り出した科学者であるが、彼が気づいたのは、自然界において一見ランダムや無秩序な現象や造形がフラクタルの法則と呼ばれる単純な数学的規則に従っていることだった」とあり円形は不適であることから、これは誤り。

2. 「政府の役人は、危険な気象状況に備える計画をするときに、フラクタルの分析を利用し始めた」

正解は T。第 3 段落最終文に「実際に現在、政府諸機関が自然災害に備えるために、フラクタルによる予測が気象学者によって政府諸機関に提供されている」とあることから、これは正しい。

3. 「フラクタルのパターンは 1500 年代の間に芸術に現れ始めた」

正解は F。第 4 段落最終文に「魅力的なフラクタルの形は例えば 5 世紀のローマのモザイク画、レオナルド・ダ・ヴィンチの『乱流』、北斎の『神奈川沖浪裏』、M・C・エッシャーの『円のシリーズ』で見つけることができる」とあることから、これは誤り。

4. 「1999 年の論文で報告された研究では、参加者の 7 人のみがフラクタルのない絵画を好んだ」

正解は T。第 5 段落最終文に「120 人の参加者がどちらかを選ぶよう尋ねられると、113 人がフラクタルのパターンの力強い美的魅力を認めて、そのパターンが好きだと言った」とあることから、これは正しい。

2

1. イ be retained
 一見 with の目的語を入れるような問題に見えるが、そうした場合 that 節内の動詞がなくなる。そのため、カッコ内に入るのは that 節内全体の動詞が入ると考えればよい。次に essential から should とその省略を考えればよい。 <It is essential that S (should) V ~> 「S が V ~するのが不可欠だ」
 “It is essential that the critical thinking skills universities provide students with (should) be retained ~.”
 「大学が生徒に与えるクリティカルシンキング技術は～維持されることが不可欠である」
2. イ it that man who
 <It is 人 who ~> 「～なのは人である」という強調構文の疑問文である。
 “Was it that man who stopped my son from falling into the swimming pool?”
 「私の息子がプールに落ちるのを止めたのはその男性だったのですか」
3. ア will have been teaching
 “next March” から時制は未来であり，“for twenty years” とあるので、その2つの要因から必要な時制が未来完了進行形だと分かる。
 “Mr. Kawasaki, ~, will have been teaching at the high school for twenty years before retiring next March.”
 「～、カワサキ先生は来月の3月の退職で、20年その高校で教えたことになる」
4. イ annoyed
 as if 節内で S’+be が省略されていると考える。またその場合の省略されている S’ は文の主語と同じなので，“They” である。次に annoy の活用形を考えるが、人の感情を表す動詞のため、人が主語の場合は過去分詞にする。
 “They listened with frowns on their faces as if annoyed by my excuses.”
 「私の言い訳にムッとしたように、彼らは顔をしかめて聞いた」
5. ウ the dirtier
 二つのものを比較するときには原則比較級を用いる。 <the 比較級 of the two> 「2つのうち～な方」という形の the two の代わりに the pair が使われている。
 “This coffee mug is the dirtier of the pair because ~.”
 「～なので、そのペアのうち、このコーヒーマグカップは汚い方である」
6. エ strengthen
 <It is 形容詞 to do ~> 「～なのは形容詞である」という形式主語構文であり、真主語として不定詞句を完成させればよい。strengthen 「～を強化する」という動詞の原形を入れる。
 “~ it’s important to strengthen your core muscles”
 「～コアマッスルを鍛えることが重要である...」
7. イ should
 未来についての仮定 <If S’ should V’ ~, 命令文 ...> 「万一 S’が V’ ~すれば、...しなさい」の形において、接続詞 if が省略され if 節内が疑問文の語順 <Should S’ V’ ~, 命令文 ...> になっており、問題文では条件節が後ろにきている。
 “Please do not hesitate to ask our volunteer assistants should you need any help here at the conference.”
 「この会議で何らかの手伝いが必要ならば、遠慮なくボランティアの人に頼んでください」
8. ウ much
 luggage は不可算名詞であり、それを修飾できるのは much しかない。
 “~ because they had brought too much luggage.”
 「彼らはあまりに多くの荷物を持ってきたので、～」
9. エ doing the shopping and cleaning
 includes の目的語を入れるため、動詞は動名詞の形にしないといけない。また and で動名詞を並列させる必要がある。
 “~ includes doing the shopping and cleaning the living room.”
 「～は、買い物をするのと居間を掃除することを含んでいる」

10. ア be forgotten

<let O do ~> という使役動詞の形から補語の位置には原型不定詞がくるため, “be forgotten” だと分かる。<let O not be forgotten> 「O を忘れさせない」

“Let those who paved the way for us not be forgotten ~.”

「我々に道を作ってくれた人のことを忘れてはいけない」

3

- | | | | |
|-------|-------------------------------|-----------|-----------------------|
| 1. ウ | <u>question</u> | 「～を尋問する」 | = interrogate |
| 2. ウ | <u>predict</u> | 「～を予測する」 | = foresee |
| 3. エ | <u>precious to me</u> | 「私にとって重要」 | = the apple of my eye |
| 4. ア | <u>able to read and write</u> | 「読み書きできる」 | = literate |
| 5. エ | <u>be forgotten</u> | 「忘れられる」 | = fall into obscurity |
| 6. ア | <u>inability</u> | 「無能」 | = incompetence |
| 7. イ | <u>prepare</u> | 「～を準備する」 | = gear up |
| 8. ウ | <u>flatter</u> | 「～をおだてる」 | = butter up |
| 9. ア | <u>relevant</u> | 「関連がある」 | = pertinent |
| 10. イ | <u>renovate</u> | 「～を改装する」 | = refurbish |

4

1. エ 「その対話によれば, そのイベントは_____」
最初の Captain Lu と Mission Control と Eleanor のやり取りから, 宇宙管制センター(Mission Control)と地球宇宙博物館(Earth and Space Museum)と宇宙ステーション(Station)の対話で始まっていることがわかる。この3者の協力によりイベントが進行していくが, 1つ目の Captain Lu の宇宙管制センターに対する発言に, 自己紹介の要素がないのに対して, 1つ目の Eleanor の発言では “Station, this is Eleanor Piatz, Director of the Earth and Space Museum in the U.K.” とあるため, 宇宙管制センターと宇宙ステーションは元々一体となった組織であり, その組織と地球宇宙博物館が協力してこのイベントを行っていることがわかる。
2. エ 「その対話によれば, キャプテン・ルーが国際宇宙ステーションを訪れている主な理由は何であるか」
4つ目の Captain Lu の発言第2文に “Being able to grow food in space is the next step in planning longer space journeys.” とあり, 「宇宙で食物を栽培できることがより長期にわたる宇宙旅行を計画する上での次のステップなのです」と発言している。この部分から, 宇宙飛行士が宇宙に長期滞在する方法を探ることがこの訪問の主な理由であることがわかる。
3. ウ 「キャプテン・ルーが “in the blink of an eye” という場合, 恐らく彼は_____と言おうとしている」
下線部を含む文(5つ目の Captain Lu の発言第2文)の前半に, “Space starts at 100 kilometers above the Earth, ~”, また5つ目の Captain Lu の発言第4文前半に, “After just five minutes, we’re in space ~” とあり, この部分からかなり短時間で宇宙に到達することができるを読み取れる。下線部の “in the blink of an eye” は, 「まばたきしている間に」という意味。
4. ア 「その対話によれば, 次の200キロに飛行時間の大部分を費やす理由は何であるか」
5つ目の Captain Lu の発言第4文後半に, “~ we reach 200 kilometers and enter orbit.” とあり, 地球から200キロで軌道に到達することがわかる。続く第5文に “In orbit, we don’t need to fight against the pull of gravity, so we no longer use our boosters and slow down”, 第6文に “But we can’t relax because we have to perform very important safety checks right away ~” とあり, この部分から, 宇宙飛行士は軌道に入った後スピードを落として安全チェックを行うことがわかる。
5. オ 「その対話によれば, イベントの最中にどんな問題が発生したか」
5つ目の Eleanor の発言第4文に “Well, we seem to have lost communication with the space station, ~” とあり, イベントの最中に宇宙ステーションとの通信が途絶えた, つまり何らかの技術的障

障害が生じたことがわかる。

6. エ 「その対話によれば、ハーフタイムでの得点は何であるか」
1つ目の Gilbert の発言に “Well, the Spears are just three points ahead of the Comets ~. How the Comets have managed to score nine points.” とある。つまり, the Spears の得点は 12 点であり, the Comets の得点は 9 点であることがわかる。
7. イ 「その対話によれば, ブルースとギルバートの意見が食い違っているのは何についてであるか」
2つ目の Mohammad の発言第 2 文に “Bruce, what did you think of the incident during the eleventh minute when Robert Globe seemed to illegally bring down Wyn Easterland ~.” とあり, Robert Globe という選手が他の選手を倒したという出来事に対する Bruce の見解を尋ねている。その直後の Bruce の発言は “I think the referee got that wrong.” から始まり, 審判の Keil は Globe 選手にレッドカードを出すべきだったと主張している。それに対し, 続く Gilbert の発言第 1 文に, “I disagree, Bruce.” とあり, Keil の判断は正しかったと主張する。2 人の意見が食い違っているのは Globe 選手のプレーに関する点であることがわかる。
8. エ 「ギルバートが “a blessing in disguise.” という場合, 恐らく彼は_____と言おうとしている」
2つ目の Gilbert の発言第 4 文に “~ it seems to have inspired them to strengthen their defense, just as it looked like the Spears were about to score again.” とあり, 7. で言及した Globe 選手の出来事を経て, the Comets はディフェンスを固めることができた, と述べている。
“It’s a blessing in disguise.” は, 「災い転じて福となす」という意味である。
9. ウ 「その対話によれば, カイルは_____であるだろう」
2つ目の Bruce の発言第 3 文に “I can’t believe Keil didn’t blow his whistle and get out his red card.” 「カイルが笛を吹いてレッドカードを出さなかったのが信じられない」とある。このことから, Keil は審判だとわかる。
10. ア 「その対話によれば, ボームは_____によって, スミスを抜き去って得点を決める」
3つ目の Bruce の発言第 5 文後半に “~ but he runs so fast he unexpectedly trips.”, 続く第 6 文に “This seems to confuse the last defender, Smith, who stumbles himself and can only watch as Baum scores.” とあり, ボームは思わずつまずいたためにスミスを混乱させ, おかげで得点できたことがわかる。

5

問 1 ア 「北米とヨーロッパの電信による連絡を可能にしたケーブル敷設事業」について。3 で 1858 年に史上最大の技術的な成果の一つが起こったとした後, その成果の内容をまず何が起こったかに注目して直接的に説明している 2 を置く。すなわち「その年の夏 (1858 年の夏) 四隻のアメリカとイギリスの海軍の軍艦が大西洋の海床に約 3,200 キロのケーブルを敷いた」となる。その後, それによって, 何が可能になったかをさらに具体的に説明している 1 を置くことよい。すなわち「アイルランドとカナダを加えて, このケーブルはヨーロッパと北米の電信による連絡を初めて可能にした」となる。最後に, 電信という技術が通信においてどれだけの大きな影響を及ぼしたかを述べる 4 を置くことよい。「実際, 船で海を渡るのに 10 日かかっていた通信内容が, 今や数分で渡ることができるようになり, 地球規模の通信における新時代の幕開けとなったのである」と締めくくられる。よって, 3 → 2 → 1 → 4 が正解。

問 2 エ 「19 世紀に信じられていた骨相学」について。2 でまず, 19 世紀に「骨相学」なる考え方が流行していたことが述べられる。そのおおよその意味は「19 世紀に, アメリカとヨーロッパの何百万の人々が人間の行動が『骨相学』によって科学的に説明され予測されることができると信じていた」となる。その後, 骨相学とは何なのかを具体的に説明した 3 を次に置くとよい。3 の “this practice” が phrenology の言い換えとなっている。すなわち「この慣行によると, やさしきや慎重さや, 場合によっては, 音楽の能力といった個人的性質が人の頭の形に影響を及ぼしていた」となる。そして, その結果としてどういう考えが流布していたかを記した 4 を次に置くとよい。4 の thus は, 3 の内容を前提としている。「したがって, 指先で人の頭のへこみを確かめることによって『骨相学者』はその人の性格を『読み取る』ことができた」となる。そして最後に, こ

うした「骨相学」の考えに科学的な根拠がないことが示されたのが 21 世紀になってからである旨が述べられる。よって 1 を最後にする。つまり「驚くべきことに、21 世紀になってようやく、頭の形と性格の間にあると信じられていた関係が科学的には誤りであると証明された」となる。よって、2 → 3 → 4 → 1 が正解。

問 3 ウ 「グンカンドリが長距離を休みなく飛行できる理由」について。冒頭に 2 が置かれて、「グンカンドリは、一度も着水や着地することなく一度に 2 か月も海を飛んでわたる」となる。1 は、グンカンドリが長時間飛行できる仕組みについて、とりわけその羽に注目して述べていることから、2 の後に置くとよい。すなわち「特徴的な『W』の形のグンカンドリの翼が、グンカンドリが気流にのってそのまま進んで、翼を羽ばたかせることなく何時間もあるいは何日間も飛ぶことができるようにする」となる。この後で、注目すべきは、3 の “these short naps” である。these が受ける内容が当然その前にあると考えて探すと、4 の “taking 10-second naps” が見つかる。よって、ここから、4 → 3 の順になる。さらに、4 の “This, in turn, enables them to sleep in the air” の this の指している内容が、1 で書かれている翼を羽ばたかせることなく長時間飛行を続けられるという内容を受けているとわかる。よって、2 → 1 → 4 → 3 が正解となる。

問 4 ア 「同僚のノーベル賞受賞の陰に隠れた中国人学者」について。まず 4 で呉健雄という中国生まれの女性学者が、渡米しコロンビア大学で物理学の正教授になった旨が説明される。その後、彼女が同僚の求めに応じて実験を行った旨が書かれている 2 をその次に置くとよい。さらに、2 の実験結果明らかになったことを説明した 1 が続く。3 の “this major achievement” は、1 に書かれている内容を指していると考えられるから、1 → 3 の順になる。よって、4 → 2 → 1 → 3 が正解。

6

- (1) ア 空所(1)を含む 1 文のおよその意味は「2018 年には、Hangrove 店は室内装飾品の新商品を発表した、それでも 2018 年、2019 年ともに、このカテゴリー (= home decor) の広告費支出はその広告予算全体の中で(1)の割合を占めている」である。円グラフから “home decor” の占める割合は 4 つのカテゴリーの中で最小であることがわかり、smallest を選択する。
- (2) ア 空所(2)を含む 1 文のおよその意味は、「有名人を起用したデジタルメディアによる(2)の販売キャンペーンにより、2019 年は 2018 年に比べて、予算総額における残り 3 つのカテゴリーそれぞれに割り当てられる割合が低くなった」である。円グラフから、clothing だけが 2018 年に比べて 2019 年の方が予算総額の割合が高くなっていることがわかる。よって clothing を選択する。
- (3) エ 空所(3)を含む 1 文のおよその意味は、「棒グラフによると、2019 年では 2018 年に比べて食料品の 4 つのサブカテゴリーの全てで、より多くの予算が広告に費やされた。しかし、最も大きな伸びは(3)のサブカテゴリーで見られる」である。棒グラフから、最も大きな上昇が見られるのは Dairy であり、これが正解となる。
- (4) ウ 空所(4)を含む 1 文のおよその意味は、「食料品のサブカテゴリーの中で唯一有意に上昇しなかったのは焼き菓子であり、その支出は両年とも(4)百万ドル前後で推移している」である。棒グラフから、“Baked Goods” の支出はほぼ 6 百万ドルを示していることがわかり、six を選択する。

7

- (1) “However, most major scientific journals are disseminated in English, ~”
 「しかし、ほとんどの主要な科学雑誌は英語で書かれ広まっている」
 disseminate は「～をばらまく、広める」
 “~, meaning that those in other languages fail to reach a wider audience and their findings are ignored in the international arena.”
 「つまり、他言語で書かれた雑誌はより広範な読者の目には届いておらず、その研究結果は国際的な議論の場においては顧みられていない」
 those in other languages は「他の（英語以外の）言語で書かれた科学雑誌」
 <meaning that ~> は「つまり～、その結果～」
 a wider audience は「より広範な地域の読者」
 findings は「研究結果、調査結果」
 an arena は「議論や競争の場、活動の舞台」
- (2) “As a result, many rare animal species and isolated indigenous cultures that are in danger of extinction have been inefficiently described in English-language studies.”
 「その結果、失われる危険のある、多くの希少種の動物や珍しい固有の文化は、英語でなされる研究のなかで、十分には述べられてはこなかった」
 indigenous は「その土地や国に固有の」
 that 節が修飾する対象は many rare animal species and isolated indigenous cultures
 a study は「研究、調査」

8

- (1) 「驚くべくことに」 surprisingly / amazingly / to our surprise など。
 「光線」 a ray (of light) / a beam (of light) / light (4行目) など。
 「～を分解する」 decompose / break down など。
 「化合物」 a compound / a chemical compound など。
- (2) 「筋書き」 a scenario / a story (2行目) など。
 「実験室」 a laboratory / a lab など。
 「生物」 a creature / a living thing / a form of life / an organism (1行目) など。
 「逃げだす」 run away / escape / break loose など。
 「地球」 the earth / the Earth など。
 「～をおびやかす」 threaten / endanger / become a threat to / become a danger to など。
 「現実では」 in real life / in the real world など。

講評

- 1 [長文内容一致] (標準) 「自然界と芸術作品に見出すことのできるフラクタル」に関する英文。設問に特に難しいところはないが、語彙と背景知識で差がつく。
- 2 [文法四択] (標準) 典型的な出題内容で、しっかりと学習していれば得点しやすい。
- 3 [同義語選択] (標準) 難しい単語はなく正解を選びやすい。知らない単語も、文脈から選択可能。
- 4 [会話] (標準) 前半は「宇宙ステーションと地上とのイベントにおける会話」。後半は「ラグビーの試合内容に関する会話」。各設問の選択肢は正誤の判断をつけやすいものが多いものの、中には判断しがたい設問も含まれる。
- 5 [文整序] (やや易) 先頭に来るものが決まっており、指示語や代名詞を判断基準にして答えを出せる設問が多い。
- 6 [図・グラフ] (やや易) データを正確に読み取る力を試す問題だが、特に難しさはない。
- 7 [和訳] (標準) 「科学における言語障壁」に関する英文。一部難しい単語も含まれるが、全体としては構造通り素直に訳せる。
- 8 [英訳] (標準) 「シンクロトロンを用い、プラスチックを分解することができる酵素の働きを加速させる研究」に関する英文。文章内容を理解して下線部の日本語の意味を理解する必要がある。

大問構成、問題量及び難易度のいずれも例年並み。目標は70%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎.0120-146-156 まで

 医学部進学予備校 ☎.0120-146-156 https://www.mebio.co.jp/	 医学部専門予備校 heart of medicine ☎.03-3370-0410 https://yms.ne.jp/	 医学部専門予備校 福岡校 ☎.0120-192-215 https://www.mebio-eishinkan.com/
---	--	---


 登録はこちらから

医学部入試攻略ガイド

大阪	2.5(日)	14:00～15:00(ガイド) 14:00～15:00(個別相談) 阪急梅田グランドビル会議室
神戸	2.11(土)	14:00～15:00(ガイド) 14:00～15:00(個別相談) 三宮研修センター
京都	2.12(日)	14:00～15:00(ガイド) 14:00～15:00(個別相談) 京都経済センター (四条烏丸)

医学部受験相談会

名古屋	2.5(日)	11:00～16:00 オフィスパーク名駅プレミア会議室
広島	2.5(日)	11:00～16:00 TKPガーデンシティPREMIUM 広島駅前

後期模試

金沢医科大学 2.17 関西医科大学 2.22

後期攻略講座

近畿大学医学部 2.18・23
関西医科大学 2.20・3.2
金沢医科大学 2.21・27/2.24 (名古屋)
藤田医科大学 2.24 (名古屋)
久留米大学医学部 3.6
大阪医科薬科大学 3.7

詳しくは Web またはお電話で